

原子力規制庁インターンシップ（令和元年度夏季）実習内容一覧表

以下の実習内容の中から、希望するものを選択してください。

どの業務を選択した場合でも、国家公務員としての行政事務を経験することができます。

（文系・理系は問いませんが、安全審査や検査、安全研究に関する業務では理工系の知識が必要となる場合があります。）

番号	実習内容
<u>制度の運用や新規規制基準の管理などに関する業務</u>	
原子力規制行政に関係する制度の運用や基準の管理などについての理解を深めます。	
1	新たな知見を取り入れるために行う検討会や審査会、意見交換の運営
2	新規規制基準や安全研究の管理
<u>原子力施設などの安全審査に関する業務</u>	
審査の具体的な内容や関連法令への理解を深めます。	
安全審査については、以下①～④に分類して実習を行いますので、興味のあるものを選択してください。	
3 ①	原子力発電所（実用炉）の安全審査
3 ②	試験研究炉や核燃料物質の使用施設などの安全審査
3 ③	核燃料物質の加工施設や使用済燃料の再処理施設などの安全審査
3 ④	原子力発電所などの耐震・耐津波の安全審査
<u>原子力施設などの検査に関する業務</u>	
検査制度や関連法令への理解を深めます。	
※今回の実習では、実際に原子力施設に検査などに行くことはできません。	
4	原子力施設などの検査
<u>放射線による障害の防止に関する業務</u>	
放射線被ばくを防ぐための体制作りや、放射性同位元素などの規制関連法令への理解を深めます。	
5 ①	環境放射線モニタリング
5 ②	放射線同位元素などの規制

原子力規制庁インターンシップ（令和元年度夏季）実習内容一覧表

番号	実習内容
<u>安全研究に関する業務</u> 規制行政を行う上での基準の整備や技術的知見を取得するための調査・研究を行います。 担当する分野ごとに、以下の4つに分かれます。	
6 ①	原子力施設や核燃料などの安全性向上の調査・研究
6 ②	重大事故の影響評価や確率論を用いた原子力施設評価に関する調査・研究
6 ③	サイクル施設、貯蔵・輸送、廃止措置、廃棄物の処理・処分などの安全性に関する調査・研究
6 ④	地震や津波などに対する原子力施設などの安全性や構造強度に関する調査・研究
<u>国際機関や海外規制機関との連携などに関する業務</u> 日本の安全規制に関する情報公開や海外機関からの情報収集などを行います。 ※実習にあたっては、一定の英語力が求められます。	
7	国際機関や海外規制機関との連携